

フェイス・イン・アクション(FIA) ロシア レポート

2009年8月

15年信仰の歩み(ノエル氏のレポート)

神様の働きをしていますが、すべてのことがいつもスムーズにいくとは限りません。FIA にとっても昨年は、そのような山あり谷ありの一年でした。ロシアでは以前にも増して、宗教活動が厳しく規制されているにもかかわらず、人々は救われて来ています。学生のなかにも昨年救われて、学校に来た生徒もたくさんいます。教会に対する規制は、地域によって様々ですが、現在のところウラジオストクの行政は、そんなに厳しい規制を設けていません。感謝なことに、1994年春からFIA 神学校は、続けてロシアの教会のために今も牧師・リーダーの訓練を続けています。



残念なことに、教会の主任牧師が道徳的罪に陥ってしまったことにより、地域教会や神学校の評判も傷つき、多くの痛みを経験しました。そのため、今年の6月には、卒業生は3人だけでしたが、現在8人の学生が実践訓練のため極東ロシアの各地に遣わされています。彼らは9月には、学校に戻り最終学年の学びをしますし、また、新入学生も入ってくる予定です。

卒業生の1人、デニス(Denis)は卒業後教会と神学校のスタッフとなりました。デニスは英語も話せます。このことは、私たちにとって大きなボーナスのようなものです。今まで、ロシアとのコミュニケーションの為にいつも通訳者が必要だったからです。デニス(Denis)が英語で学生たちの様子や、自分自身の学校での証しなどを送ってくれました。現在 FIA は、神学校としてではなく、訓練セミナーとして活動しています。しかし、教えている内容と目的は、以前と同じですので、覚えて続けてお祈りください。

ノエル氏 10月ウラジオストク訪問

この10月に私(ノエル・モーリス)が直接現地を訪問する予定です。2週間ほど授業を教え、教会のリーダーたちや長年の友人たちを訪問する予定です。この4年間私はロシアに行っていません。去年行くこととしたのですが、ビザが下りずに行く事ができませんでした。

今回、同じ町にすむ夫妻、カール&ローレン・ダンセースさんたちが私と一緒にロシアに行きます。ご主人のカールさんは、2002年に私と一緒にロシアへいった経験があります。



日本を経由して

ロシアに行く途中に今回は、日本に1週間ほど滞在する予定です。日本のクリスチャンは、FIA が始まった時からずっと忠実に献金と祈りをもって支えてくださいました。日本の皆さまとお会いできたら嬉しいと思っています。10月4日に日本到着の予定です。

私(ノエル氏)の祈りのリクエスト

- 私達のビザのためにロシアからの招待状が、時間通りに届きビザがおりるように
- 今回のロシア訪問のため、私の飛行機代と旅費が十分に備えられますように
- ロシアでの授業のために、何を教えるべきか主からの知恵が与えられますように
- 旅行期間の健康と安全が守られますように



デニスからの報告

私の名前はデニスといいます。わたしは、ウラジオストクの生ける神の教会の教会員です。私の牧師から、私達の教会が運営している聖書の訓練セミナーについて報告するようにと頼まれました。数ヶ月前に私は、そのセミナーを卒業しましたので、私(Denis)がその代表として報告します。

私は、2008年の9月に入学しました。最初は、10人の生徒がいました。女性3人と男性7人で、年齢は19歳から58歳と様々で、いろいろな地方から、様々なかたちで神様の下に来た人々でした。主は、私達が共に学び生活し、お互いに仕えあう中で多くの祝福をくださいました。

FIA 訓練セミナーの週間スケジュール

私達(Denis)の一日のスケジュールはこのようなものです。月曜日(Monday)から金曜日(Friday)まで、朝と夜に授業があり、午後にはそうじや様々な建物の修理管理などをします。土曜日(Saturday)には、教会の礼拝堂と庭のそうじ、

日曜日(Sunday)は教会の礼拝です。

毎日朝と夜にグループでの祈りと賛美の時があり、生徒たちは聖霊に導かれるままにグループでまた個人的に祈の時を持ちます。

授業の時間以外の時間に、生徒は聖書を自分で勉強したり、有名な説教者のメッセージから学んだり、メッセージのDVDやビデオを見て、お互いに神様について学んだことなどを分かち合います。このような分かち合いの時間を、生徒同士兄弟姉妹としての交わりを深める助けとなっています。

FIA 年間スケジュール

訓練セミナーは、2008年9月1日から12月14日までが、聖書の学びとその意味、説教、聖書解釈学などを学びます。教会の牧師先生やスタッフまたアメリカからのゲスト講師から学びを受けます。12月14日から2009年2月28日まで、生徒は全員実践訓練のため枝教会に奉仕に遣わされました。私は、ウラジオストックから車で4時間くらいの所にあるリバディア居留地にある枝教会でリハビリセンターのあるところで奉仕しました。そこのリハビリセンターにいるほとんどの男性は、元囚人で、皆大変な人生、環境の中にいた人達です。私は彼らに神の愛を伝えて、共に祈ったり、一緒に作業をしたりしました。彼らが、一步一步イエス・キリストに心を開いて、今現在分別のある生活をする事ができることを神に感謝するようになるのを見て、私は大変嬉しかったです。



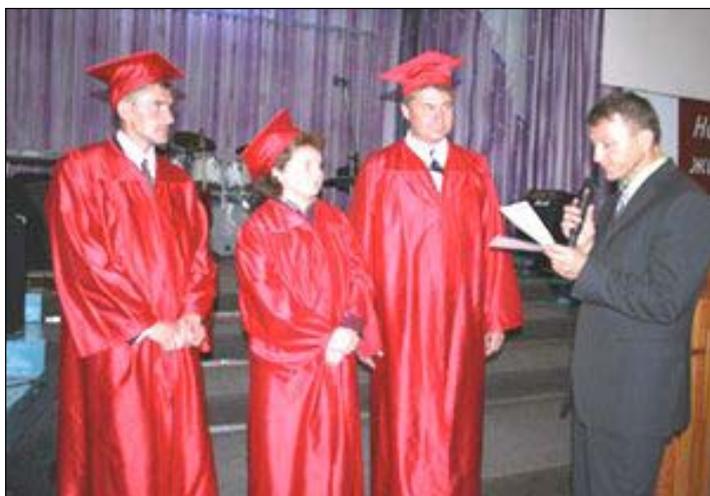
3月2日に私達は学校に戻り、6月3日まで授業がありました。いろいろな理由で幾人かの生徒が途中で学びをやめてしまいました。私達は、これらの兄弟姉妹が、またいつか学びのために戻ってくるようにと祈り続けています。

彼らの他に、12月から新しく入った生徒が数名います。学校の教室は、一つしかないので、新しく入った生徒も同じクラスで学んでいます。また、2007年に個人的な理由で学びを中断したリディア姉も学校に戻ってきて、共に学んでいます。

今年の春学期は、聖書のバックグラウンドや聖書の書かれた時代の哲学、倫理またロシアにおけるクリスチャンとしての生活などを学んでいます。また、それ以外にも「オープン・ロシア神学アカデミー」からの講師野先生を迎えての1週間の学びもありました。

卒業式とその後

デニス・D、ピタリー・M、リディア・Yの3人が2009年春の卒業生です。卒業にあたりそれぞれ、聖書の英雄についての論文と口頭論文を用意しました。私は、ヨセフについての論文と「現代の若者の問題と彼らに対する伝道方法」という口頭論文を用意しました。6月7日(日)礼拝の中で、私たち3人は、FIAセミナーの卒業証書を頂きました。



ピタリー兄は、枝教会であるレソパドスク(車でここから10時間ほど)に遣わされました。

リディア姉は、自分の郷里であるプラスツン居留地(北方)に戻り、彼女の夫(2005年の卒業生)と共に家のセルグループを指導しています。(その地方にはまだ教会はありません)

私(デニス)は、現在このウラジオストック教会とFIAのスタッフとして奉仕しています。私の視線から見るとFIAのクラスは各生徒に神からの祝福でした。学びを通して過去から引きずっていた否定的なものを後にして新しい神の力を武器として武装することができました。(ベネディクト・ヘホ翻訳)

FIA 祈りのリクエスト

- 神学校のリーダー、スタッフのため
- 教会に出て行っている学生のため
- 9月にくる新しい神学生のため
- 神学校とスタッフの経済的必要
- ロシアの教会が自由に伝道活動できるように

★ホームページ★

このニュースレターは下のサイト英語で読むことができます。

This newsletter is in English at:

www.faithnet.co.nz

日本事務所:

〒520-0853 滋賀県大津市蛸谷 5-25

日本代表: サム・ベネディクト

TEL/FAX 077-534-8837

メール: samhaeho@ybb.ne.jp

ニュージーランド事務所:

Faith Ministries

P.O.Box 12357

Hamilton, New Zealand

+64-7-853-8285

メール: noel@faithnet.co.nz

献金口座

郵貯振替 01150-8-74597

加入者名: 信仰ミニストリーズ